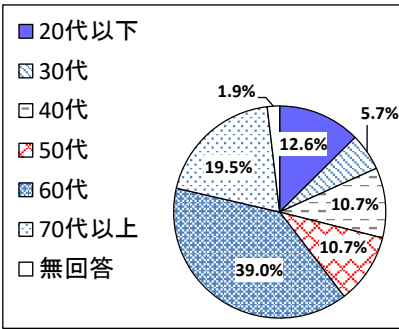


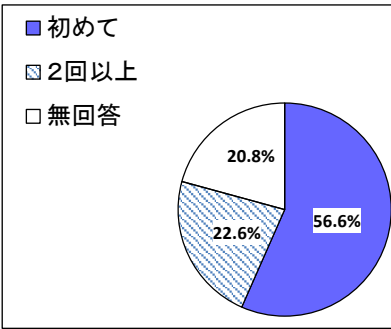
1 参加住民・要員アンケート結果(令和4年度原子力防災訓練)

【住民アンケート結果】回答者159人(伊方町72人、八幡浜市16人、大洲市20人、西予市34人、宇和島市17人)

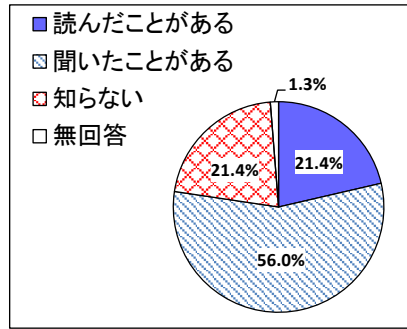
Q 回答者の年齢



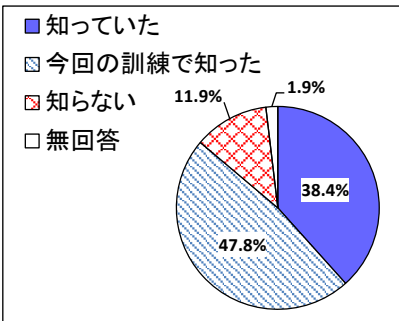
Q 回答者の原子力防災訓練への参加回数



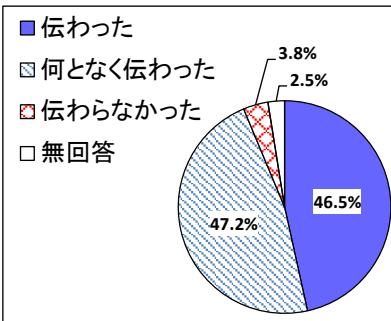
Q1 愛媛県広域避難計画を知っているか



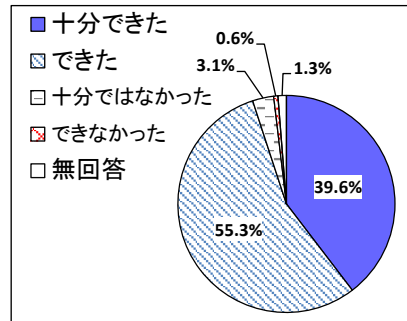
Q2 原子力災害時の避難方法を知っているか



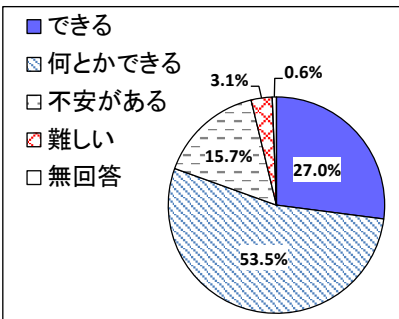
Q3 住民広報は確実に伝わったか



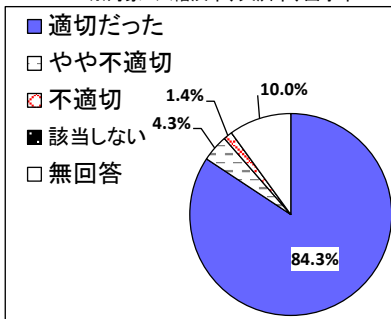
Q4 避難はスムーズに行えたか



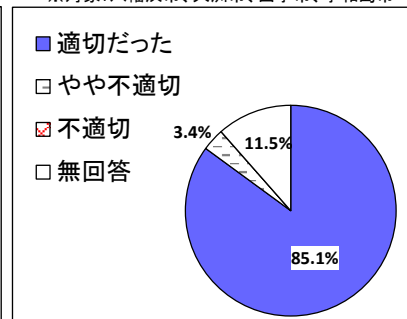
Q5 訓練を体験して避難は行えると感じたか



Q6 避難退域時検査の運営は適切だったか



Q7 安定ヨウ素剤の配布、服用は適切に行えたか



※対象: 八幡浜市、大洲市、西予市

※対象: 八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市

＜参加住民からの主な意見＞

- ・平日のため難しいかもしれないが、若い世代が参加できれば良い。
- ・女性の参加が少なかった。
- ・訓練は少人数のためスムーズに避難できたが、実災害時に多くの住民が避難するとなると、訓練どおり避難できるか不安。
- ・高齢者や障がい者、病人など、様々な人のことを考えなくてはいけない。
- ・安定ヨウ素剤の服用タイミングや効果等、より詳しい説明が欲しかった。
- ・万が一に備えて、落ち着いた行動がとれるよう、今後も正しい知識を取り入れていきたい。
- ・初めての経験で知見を得ることができた。
- ・講習会は非常に勉強になったが、時間が短く質問できなかったため、時間配分を改善してほしい。

【要員アンケート結果】回答者280人

＜参加要員からの主な意見＞

- ・住民の理解を深めるため、住民に対して、訓練想定や、それに対する対策など丁寧な説明が必要。
- ・参加住民の多くが高齢男性だったため、女性や子供等幅広い層の参加が望まれる。
- ・実災害は、訓練の何倍もの対応が必要となるため、より多くの職員や住民を巻き込んだ訓練を行いたい。
- ・今後も様々な想定のもと、継続して訓練を行うことが必要。
- ・避難所において、受付を終えた住民が、次の訓練まで時間を持て余している場面があったため、内容や時間配分を見直し、臨場感がある訓練としたい。
- ・住民に妊婦や子供役、「薬の飲み合わせに不安がある」等の設定を行うことで、様々な場面に対応した訓練ができるのではないかと。
- ・安定ヨウ素剤の配布に関して、配布した飴を本物のヨウ素剤とされている方がいた。住民広報の機会にもなるので、見本として本物のヨウ素剤を展示すると効果的である。
- ・放射性物質放出後のモニタリング活動は、汚染の有無が分からない状態で実施するので、試料採取する場合の手順をしっかりと確認しておきたい。